



TRAM SYSTEM

NEWS LETTER

Ver. 2016. 04

今月のコンテンツ



Eatsa

◎ **全自動ファーストフード店「Eatsa」**

・店舗内に店員がゼロに



HoloLens

◎ **ホロポーテーション**

・コミュニケーションの形が激変する



自動運転トラック

◎ **自動運転トラックが欧州横断に成功**

・WiFi通信で隊列走行を可能に



ロボット×IoT

◎ **ロボット×IoTが世界を変える**

・ロボットが人とIoTの懸け橋に



今回はIT関連の記事によく目にするようになった「IoT」の進化による未来の形を見ていきたいと思います。

※IoT(アイオーティー)とは

Internet of Things の略称で、インターネットに接続されていたパソコンやサーバなどIT関連機器に加えて、これら以外のモノ(Things)をインターネットに接続する技術のことです。「モノのインターネット」とも称されます。

◎ 全自動ファーストフード店 「Eatsa」(イーツァ)

店舗内に店員がゼロに



2015年8月31日、アメリカ サンフランシスコにて、特異なファーストフード店がオープンしました。
このレストランは完全に自動化され、ウェイターが1人もいないファーストフード店です。

左図のようにタッチパネルで注文します。
iPadを使っているところが少しオシャレです。
タッチパネルを操作して注文し、クレジットカードで料金を支払います。

さすがにキッチンには数人のスタッフがおおり、注文が入れば料理して右図の透明なBOXで受け渡します。

IT技術がレストランの形を変えてますが、人間のほうにもIT技術の進化による影響が出ています。

特に西暦2000年以降に生まれた「ミレニアル」と呼ばれる世代の若者は、このようなテクノロジーの扱いも慣れており、むしろ人との関わりを避ける傾向にあります。

従来の対面型カウンターに加えて、自動型のオーダー機を置くと、自動型のオーダー機に列をなしていることが多いのだとか。



マクドナルドが無くなる日も近そうですが、スマイル注文するとどうなるんでしょうかね・・・

◎ Holoportatin (ホロポーテーション)

コミュニケーションの形が激変する



インターネットを通して情報を送ることになるので、通信環境さえ整っていれば、海外とのテレビ中継のように声や反応が遅れる事もほとんどないようです。

インターネットの出現により、「距離」という概念はドンドン変わってきています。

ホロポーテーションの普及は現在のコミュニケーションの形が激変する可能性を秘めています。

現実世界に仮想の情報を3Dホログラムで作ることができる「HoloLens」をMicrosoftが開発しました。左の図では女の子が移っていますが、現実には数百キロ離れた地点にいます。3Dカメラで撮影した情報を遠隔地で構築し、あたかも現実にいるかのように見える技術です。テレビ電話の上位バージョンといったところでしょうか。



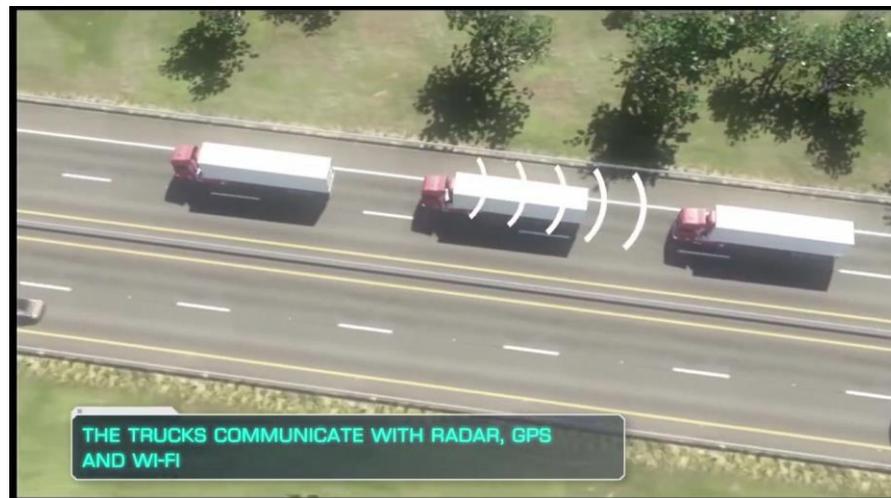
◎ 自動運転トラックが欧州横断に成功

WiFi通信で隊列走行が可能に

前回はピザ配達の自動運転ロボットをご紹介しましたが、今回はトラックです。

物流を大きく変える可能性を持つ自動運転技術の中でも、複数台のトラックが互いに通信して隊列走行する技術は省エネで自動車事故を減らすものとして大きく期待されており、ヨーロッパでの大規模実験を成功させて実用化目前までできています。

GPSとWiFiを駆使し、互いの車間距離や走行情報を交換し合うというものです。



左図のように隊列走行は常にスリップストリームによる省エネ走行が可能です。

隊列走行技術は既に高い安全性を実現しており、隊列の間に自動車が割り込んできても、後続車は車間距離を広げて追従することが可能です。

今回の実験で最も長い距離を走行したトラックはなんと2,000kmを走破。2017年には協賛企業とともに、実際に商品を積み込んでヨーロッパ各地に商品を運ぶテストを行う計画になっています。



◎ ロボット × IoT が世界を変える

ロボットが人とIoTの懸け橋へ

「ロボットと一緒に生活する」フィクションのような世界が現実になり始めています。

今回の記事でも、無人レストランでロボットが料理できるようになれば、完全無人レストランの完成です。ホロポーテーションはITに馴染めない方や機械が苦手な方にロボットがサポートすることで容易に実現可能になるでしょう。

自動運転トラックはもはやロボットが運転していると同義です。



情報革命の大きな可能性



「業界によっては、今年か来年にはロボットが業務をこなすシーンが当たり前になる」と言われています。

IoTとAI(人工知能)を搭載したロボットをスマートロボットと呼びますが、役割はインターネットに繋がりながら、人間とIoTを仲介する対人インターフェイスです。スマホやタブレットもそういった役割を担っていますが、スマートロボットは能動的に人間に働きかけてくるため、これまでの世界観が一変すると言います。

◎ ロボット × IoT が世界を変える

ロボットが人とIoTの懸け橋へ



例えば、自宅用のミネラルウォーターを購入したい時、今まではPCやスマホで通販サイトで購入し、人によっては時間を掛けて様々なサイトで価格比較して最安値のサイトで購入してるかもしれません。スーパーへ足を伸ばして購入してる人もいるでしょう。

しかし、スマートロボットがいたらどうなるでしょうか。ミネラルウォーターが無くなりそうな段階で、いつものブランドのミネラルウォーターをロボットがネットで検索し、最安値の商品を見つけ出し、人間に購入しておくか問いかけ、クレジット決済までしてくれる。まさにお助けロボットですね。

スマートロボットが人とIoTの真ん中にあることで、IoTは完成すると言われています。

IoT化が進み、テレビ・照明・洗濯機・エアコンなどがネットワークに繋がったとしても、そこで得られたデータを何らかの形で人にフィードバックしなければIoTのメリットは享受できません。かといって、家電がそれぞれ個別にアクションを仕掛けてくるようにしても騒々しいし、家電のコストも上がってしまいます。そこでスマートロボットが人とIoTを繋ぐハブの役割を担うことで、無限の可能性が広がっていくわけです。



彼らもスマートロボットと呼ばれますね。

トラムシステム

おしながき

工事 Construction

- ・ビジネスホン/PBX工事
(CTI連動、ナースコール連動、etc)
- ・LAN敷設工事、電気、配管工事
- ・ネットワーク、VPN、UTM構築
- ・各種サーバー構築 (ファイル、DHCP、フロッピー、etc)



販売 Sale

- ・ビジネスホン/PBX
- ・複合機、コピー機
- ・IVR、録音装置、CTI
- ・Server、PC、NAS
- ・UTM、VPNルーター、wifi AP
- ・監視、WEBカメラ
- ・IP-PBX、SIP Server



開発 Development

- ・Call Center ソリューション
(トラムWEBシステム、ACD・CRM・CMS対応、トラムレンタルコールセンター)
- ・福祉業界ソリューション
(緊急通報装置、訪問管理システム)
- ・通販管理ソリューション
(受発注管理、物流管理、各モール、7Pリケーション連動型)
- ・データセンターソリューション
(共有サーバ、ホスティング、コロケーション、ファイルトランスポート)



トラムシステム株式会

〒465-0063

愛知県名古屋市名東区新宿2丁目55番地

TEL:052-701-2634

FAX:052-701-2637

Mail: info@tramsystem.jp

Tram Data Box



サービス Service

- ・全キャリア、回線取次サービス
- ・光コラボ トラム光
- ・トラムLIVE、トラム0120、トラム050
- ・緊急通報付シフト管理システム
- ・トラム DaTa Box (ファイルトランスポート)